

“海の事故にあわないで！”

家族や友人、地域住民の方は事故防止のため  
「声掛け」を！

ライフセーバー等監視員がいない海で泳いで死亡する事故が多数発生！

過去5年間に茨城県内で発生したライフセーバー等監視員がいない海での事故者は28名で、そのうち死亡者は12名（約43%）でした。

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、茨城県内の海水浴場は開設されないことになりました。

ライフセーバー等監視員がいない海で溺れた場合、助けが来た頃には手遅れになる可能性が高く、非常に危険です。

海で泳がないようお願いします。

**もし、海で溺れた人を見かけたら！**

- ◆海上保安庁（118番）や消防または警察へ通報しましょう。
- ◆ひとりで助けようとせず、まわりの人に助けを求めましょう。
- ◆浮き輪やペットボトル、クーラーボックス等浮くものを投げ入れたり、長いもの（棒）を差し伸べたりしましょう。

茨城海上保安部